

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	観光課
-----	-----

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市川古の大楠公園			
所在地	武雄市若木町大字川古7845番地1			
施設の設置目的	本市の観光事業の振興及び憩いの場として市民の利用に供するため、武雄市川古の大楠公園を設置する			
指定管理者	団体名	若木町まちづくり推進協議会		
	所在地	武雄市若木町大字古川7474番地		
非公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年	5年のうち4年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 施設利用者数（人）	26,000	26,262	28,049	26,310	23,230	
2 自主事業収入（円）※	10,000,000	10,955,948	11,122,061	10,790,262	9,644,288	

※自主事業収入には、物販の預かり金も含んでいる。実際の収入は、販売手数料分となる。

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	16,163	16,334	15,994	14,816	
指定管理料	4,971	4,971	4,971	4,971	
利用料収入	236	241	233	201	
自主事業収入ほか	10,956	11,122	10,790	9,644	
支出計	16,163	16,334	15,994	14,816	
事業費	4,811	5,238	5,097	5,309	
内 人件費	3,637	3,949	3,926	4,085	
内 再委託料	0	0	0	0	
自主事業費	11,352	11,096	10,897	9,507	

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	C	C
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている。	C	C
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	C
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	B	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	B	B
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	B	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	A	A
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	B	B
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	A	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	A	A
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	B	C

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組がみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

施設周辺の用具や器具の整理、簡易な維持修繕などを直営で行い、施設環境整備と経費節減に努めた。また、新たに店舗入り口に看板を設置するなど、来場された方の直売所店舗内への誘導を図った。

6 所管評価

来場された方に対して市内の観光案内を行ったり、商品をこまめに補充したり、きめ細かな接客対応等、お客様に配慮した丁寧な対応ができていた。また、施設の除草作業を細目に行ったり、雨水桝や水車回りの状態が良好になるように適切に管理されていた。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	観光課
-----	-----

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市竹古場キルンの森公園			
所在地	武雄市武内町大字真手野24001番地1			
施設の設置目的	本市の観光及び産業の振興並びに憩いの場として市民の利用に供するため、武雄市竹古場キルンの森公園を設置する			
指定管理者	団体名	武雄市竹古場キルンの森公園運営協議会		
	所在地	武雄市武内町大字真手野24001番地1		
非公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年	5年のうち4年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 施設利用者数（人）	6,000	4,777	5,216	6,225	6,718	
2 自主事業収入（円）	2,000,000	1,981,892	1,976,946	2,757,617	4,023,503	

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	9,068	10,143	9,931	11,351	
指定管理料	6,676	6,676	6,676	6,676	
利用料収入	410	542	497	651	
自主事業収入ほか	1,982	2,925	2,758	4,024	
支出計	7,935	9,463	9,205	10,708	
事業費	5,570	6,014	6,447	6,701	
内 人件費	4,225	4,402	3,945	4,345	
内 再委託料	0	0	0	0	
自主事業費	2,365	3,449	2,758	4,007	

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	C	B
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報が提供がされている	B	A
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	A
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。利用者が不便なく施設利用ができる。	C	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	C	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	C	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	C	C
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	C	B
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	C	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	C	C
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	C

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

コロナ禍でもお客様の受け入れが緩和され、お客様の外出も増えたため団体ではない個人単位での陶芸体験が増え売り上げ増につながった。11月～12月開催の「クリスマスツリー展示☆販売会」も売り上げが伸びた。武雄市より武雄焼のPRも兼ねた記念品の注文も有、全体で大幅に売り上げが増加した。

後期に若い指導員が入社したこともあり、SNS発信も増え、陶芸体験の新メニューや施設の見直しなど今後に向けてもっと利用していただくよう検討しました。

6 所管評価

SNSやチラシを活用した広報を積極的に行うことで、飛龍窯の魅力発信、集客に繋がっている。また、SNS以外にも、登り窯の室内を活用した展示や向窯での焼成イベント等を積極的に取り組んだことで、市内外のお客様に飛龍窯の魅力を発信することができた。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	商工課
-----	-----

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市特産品等展示販売飲食施設（黒髪の里）			
所在地	武雄市山内町大字三間坂甲14697番地2			
施設の設置目的	市内地場産品の展示、販売、飲食の提供及び取引のあっせん、観光等の紹介並びに情報の提供を行い、もって市の活性化に資するため			
指定管理者	団体名	一般社団法人 黒髪の里		
	所在地	武雄市山内町大字三間坂甲14697番地2		
非公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年	5年のうち4年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 施設利用者数（人）	203,000	206,856	202,145	199,745	199,745	
2 レジ売上額（千円）	206,500	200,000	202,000	206,000	206,000	

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	66,380	45,545	49,643	50,313	
指定管理料	7,246	7,246	7,246	7,246	
自主事業収入ほか	59,134	38,299	42,397	43,067	
支出計	66,614	46,963	45,157	48,967	
事業費	7,246	7,246	7,246	7,246	
内 人件費	1,342	1,342	1,342	1,342	
内 再委託料	3,215	2,667	2,979	2,896	
自主事業費	59,368	39,717	37,911	41,721	

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	B	A
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている。	A	B
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	B
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	A	C
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	A	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	B	B
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	B	B
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	A	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	A	B
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	A	A

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組がみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

- ・消費税に関わるインボイス制度の理解促進への取組・・・取組対策
- ・提携市町村との商品交流品の提供の開拓促進・・・雄武町と商品交流を実施中
- ・地域振興の機能施設としての道の駅の役割を果たすための取組・・・令和6年度で計画
- ・集客が出来るイベントの実施への取組・・・春と秋で集客イベントの取組も良
- ・消費者・利用者への的確な食品表示の提供・・・生産者から消費者への的確な食品表示は良

6 所管評価

- ・道路利用者のための休憩機能、観光客や地域の方々のための情報発信機能、イベント開催等による地域連携機能など、道の駅として必要な機能を十分果たしている。
- ・地元特産品の販売等を行うことにより、地域住民の生きがいがづくりや地域活性化につながっている。
- ・施設従業員の研修や、食品表示等に関する生産者への指導など、組織の資質向上にも積極的に取り組まれている。また、令和6年度に法人化され組織基盤も強化されたことから、より安定した運営及び民間能力を発揮したサービス向上に取り組まれている。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	都市政策課
-----	-------

1 対象施設

公の施設の名称	乳待坊公園いこいの広場キャンプ場			
所在地	武雄市山内町大字宮野1864番地			
施設の設置目的	自然のもつ豊かな資源の活用を通じ、市民に憩いの場を提供することにより、資源愛護思想の普及と健康の増進を図るため			
指定管理者	団体名	株式会社ヒューテック		
	所在地	武雄市北方町大字大崎1100番地8		
公募	指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日	評価実施年	5年のうち2年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1 施設利用者数（人）	5,000	6,555	4,836			
2 自主事業収入（円）	240,000	364,350	375,440			

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入計	11,731	11,199			
指定管理料	8,882	8,882			
利用料収入	2,486	1,942			
自主事業収入ほか	363	375			
支出計	10,333	9,851			
事業費	7,689	8,406			
内 人件費	5,824	6,064			
内 再委託料	1,865	2,342			
自主事業費	2,644	1,445			

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	A	B
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている。	B	A
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	B
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	A	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	B
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	B	B
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	A	B
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	A	A
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	B	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	A	B
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	A	B

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組がみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

指定管理2年目であったが、年間を通して大きな事故等もなく無事に1年間運営ができたと思う。イベントもコロナを気にせず来場いただくイベントを開催することができた。夏の流しそうめんでは昨今あまり体験する事がなくなった流しそうめんを楽しんでもらい、秋の水風船ペイントでは親子でペイントまみれとなりみんなで汚れて、冬のナイトサウナは雄岩雌岩をライトアップし幻想的な雰囲気の中テントサウナを楽しんでもらった。想定よりも多くの方々に参加頂き、参加した皆様から面白かった、または是非開催してほしいとの声を多くいただけた。次年度も乳待坊恒例イベントとしてブラッシュアップしながら取り組みたい。キャンプ事業に関しては通年を通して、安定した集客ができたと思う。ただ、キャンプブームの落ち着きをみせるなかでデイ、キャンプ共に来場者が減っている。また、梅雨時期や真夏、真冬の集客などまだまだ課題はある。真夏の集客とサービスのアップとしてコインシャワーを年度末に設置。今年度からの利用開始を行い利便性の向上UPを行うこと閑散期の集客UPにつなげたい。

3年目となる今年度は、現状の課題を解決しつつ、より地域に根付いたキャンプ場を目指したい。

6 所管評価

指定管理初年度に引き続き、SNSによる積極的な情報発信、施設の管理や利用者対応も適切に行っている。また、工夫を凝らしたイベントも企画され、多数の参加があっていることから、イベントがあるキャンプ場として利用者の認識が定着していることがうかがえる。

利用者数が、前年より減少しているが、天候やキャンプブーム等の落ち着きによる影響だと思われる。引き続き、利用者の利便性の向上とキャンプ場の魅力化を図り、利用者数の増加を目指していきたい。加えて、周辺地域の振興につながるような取り組みも期待したい。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	都市政策課
-----	-------

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市矢筈ダム広場			
所在地	武雄市西川登町大字神六28819番地1			
施設の設置目的	余暇時間の活用及びレクリエーションの場として市民の使用に供するため			
指定管理者	団体名	西川登町町づくり推進協議会		
	所在地	武雄市西川登町大字神六20114番地4		
非公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年	5年のうち4年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 施設利用者数（人）		417	282	929	3,712	
2 施設利用収入（円）		2,080	16,640	37,440	2,620	

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	1,458,079	1,490,216	1,496,022	1,443,043	
指定管理料	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	
利用料等収入	2,080	24,640	55,440	2,620	
自主事業収入ほか	15,999	15,576	582	423	
支出計	1,458,079	1,490,216	1,496,022	1,443,043	
事業費	1,458,079	1,490,216	1,496,022	1,443,043	
内 施設管理費	782,759	926,594	900,556	1,003,063	
内 植栽管理費	650,580	450,880	560,000	328,000	
内 一般管理費	24,740	112,742	35,466	67,180	
内 備品購入費				44,800	

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	C	B
2 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	A
3 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	B	B
4 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	B	B
5 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	C	B
6 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	C	B
7 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	C	B
8 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	B

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組がみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

施設の利用については、令和5年度は矢筈ダム30周年記念イベントが開催され、市内外、県内外から多数の方が利用されたため、大幅増となった。また、施設の維持管理（除草、剪定等）が適正に行われているため、施設利用者から利用しやすいとの意見を頂いており、ロコミなどで、町内はもとより、市内外の方からも利用が増えている。

施設付帯設備のベンチ、トイレのドア等の修繕は、矢筈ダムイベントの際にダム管理事務所から修繕等行ってもらい、付帯備品の購入等を行い安心して利用できるよう努めた。

全体的に見て、施設は適正に管理ができています。

6 所管評価

施設の管理や利用者対応について、問題なく実施されている。また、30周年記念イベントについては、佐賀県が主催ではあるが、多くの方が来場され、施設について広報することができた。引き続き、適切な維持管理をお願いしたい。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	建築住宅課
-----	-------

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市営住宅等			
所在地	武雄市武雄町大字武雄3340番地2 他16団地			
施設の設置目的	住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸することにより市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること			
指定管理者	団体名	武雄ガス株式会社		
	所在地	武雄市武雄町大字永島15943番地		
公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年	5年のうち4年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 管理戸数		873	855	855	855	
2 入居戸数		743	728	717	702	

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	30,580	33,407	33,407	33,407	
指定管理料	30,580	33,407	33,407	33,407	
利用料収入	0	0	0	0	
自主事業収入ほか	0	0	0	0	
支出計	33,252	34,160	33,351	33,198	
事業費	26,110	28,193	28,299	28,983	
内 人件費	8,083	8,007	7,819	7,914	
内 事務所経費	3,128	2,582	2,810	2,841	
内 再委託料	14,899	17,604	17,670	18,228	
修繕費	7,141	5,967	5,052	4,215	
自主事業費	0	0	0	0	

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	A	C
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている。	C	C
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	C	D
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	A	C
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	C	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	A	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	C	C
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	A	C
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	C	D
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	C	C
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	C

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組がみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

出来る限りの取り組みは出来ていると思います。

6 所管評価

本市が求める要求水準を概ね満たした運営が出来ている。
「出来る限りの取り組み」ではなく、市営住宅等の設置目的、市営住宅設置条例、同施行規則を理解したうえで、市が示す業務仕様書に基づく業務の遂行を期待したい。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	文化課
-----	-----

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市図書館・歴史資料館			
所在地	武雄市武雄町大字武雄5304番地1			
施設の設置目的	市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、図書、記録、歴史資料その他必要な情報を提供する生涯学習施設			
指定管理者	団体名	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社		
	所在地	大阪府枚方市岡東町12番2号		
公募	指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日	評価実施年	5年のうち1年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 来館者数（人）	800,000	872,007				
2 図書利用者（人）	120,000	128,502				
3 図書貸出数（冊）	350,000	372,722				
4 開館日数（日）	365	365				
5 利用満足度（本館）	80.0%	95.8%				
6 利用満足度（こども館）	80.0%	99.5%				

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入計	189,181				
指定管理料	188,992				
支出計	189,190				
うち出版物購入費	15,381				
うち講座等運営費	5,990				
うち設備管理費	15,516				
うち水道光熱費	16,239				
うち人件費	105,909				

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 必須事業	読み聞かせ、各種講座、イベント等の必須事業が確実に実施されているか。	A	B
2 提案事業	市民の利便性向上、市民がより豊かな生活を実現するための事業を積極的に行っているか。	A	A
3 図書館管理業務	窓口サービス、レファレンスなど適切に行っているか。また、選書基準を遵守しているか。	A	A
4 人員体制	円滑な管理運営のために必要な人員を配置しているか。また、職員研修を実施しているか。	A	A
5 サービスの向上	利用者の意見を反映し、サービス向上に向けた取組みを行っているか。	A	A
6 施設、備品等の維持管理	施設、設備の保守点検、安全確認など確実に実施し、修繕対応など速やかに行っているか。	A	A
7 環境への配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組みを実践しているか。	A	A
8 広報・誘客対策	魅力的な情報発信を行っているか。また、新たな誘客のための工夫を行っているか。	A	A
9 地域との連携	ボランティア団体、地域団体、学校、公民館等と連携を図っているか。	A	A
10 自主事業	指定管理業務に支障が出ない範囲において、カフェ等魅力を高める事業を行っているか。	A	A
11 経費削減	コスト意識を持ち、サービスの低下につながらない範囲で経費削減の取組みを行っているか。	A	B

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組がみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

利用状況としては新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行したことで、来館者数は872,007人で前年度比105.8%と回復基調にある。図書貸出冊数は372,722冊と前年度比106.2%、図書利用者数は128,502人で前年度比106.9%と好調に推移。

利用者アンケートでは利用者満足度が本館95.8%（前年度：93.1%）、こども館99.5%（前年度：99.0%）と前年度よりも向上する結果となった。

イベントでは4月に本館リニューアル10周年記念として「Before After 写真展」、「佐賀工業高校模型展示」、「10周年記念ワークショップ」を実施。また、ケーブルワンとの読み聞かせイベント、サガン鳥栖、長崎バイオパークの連携イベント、佐賀県県民協働課との「さがすたいるフェス」など外部との取り組みを多く実施することで、市民と地域団体とのつながりをつくることに注力した。

6 所管評価

令和5年度の利用状況は順調に回復しており、コロナの5類移行に加え、図書貸出冊数上限の拡大や混雑情報の可視化（図書館HP掲載）など、利便性の向上や図書館サービスの充実を図ったことも好調に転じている要因であると考えられる。

武雄市図書館・歴史資料館協議会による外部評価では、総合評価A（指定管理者として適切）という評価であり、また、11月に実施した利用者アンケートの満足度調査でも満足度95%を超える結果となっており、指定管理者制度の導入以降高評価を維持し続けている。市民及び地域団体と更なるつながりを深めると同時に、ビジネス支援等の今後の新たな取り組みに期待したい。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	スポーツ課
-----	-------

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市体育施設			
所在地	武雄市武雄町大字4866番地 他26件			
施設の設置目的	市民の体育の普及振興を図り、もって市民の健康の増進に寄与するため			
指定管理者	団体名	武雄市体育施設管理運営共同企業体		
	所在地	武雄市朝日町大字甘久3589番地2		
公募	指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日	評価実施年	5年のうち1年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 施設利用料収入（千円）	23,644	16,261				
2 自主事業収入（千円）	6,356	4,656				

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入計	147,269				
指定管理料	126,350				
利用料収入	16,262				
自主事業収入ほか	4,657				
支出計	147,269				
事業費	145,742				
内 人件費	57,630				
内 再委託料	42,275				
自主事業費	1,527				

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	D	D
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている	D	C
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	D	D
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	C	C
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	D	D
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	D	D
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	D	D
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	C	B
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	C	C
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	C	D
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	C

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組がみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

指定管理1年目の今期は、全ての面において改善すべき点が多く見分かりました。民間企業が指定管理を行う意味を理解し、民間企業だからできる施設管理、施設運営を心がけながら市民サービスの向上を図りながら2年目以降の業務に活かしていきたいと思っております。

6 所管評価

窓口対応や電話対応等の利用者との直接的な対応は、親切・丁寧な対応がなされている。一方で、施設の清掃や周辺環境整備、設備・用具の修繕等に係る維持管理については、不十分な点が見受けられ、今後の取り組みにおいて、進化・改善が必要である。

指定管理を行なう意義を理解し、改善に取り組む姿勢は見られることから、今後の持続的な進歩を期待したい。